

特色

小児外科とは主に外科的治療を必要とする小児を対象としています。こどものからだは大人のように完成したものではなく、身体のあらゆる臓器の機能や調節機構が未熟であると同時に、精神的・心理的にも発育の途上にあります。また成人領域とは病態の異なる疾患が多く、治療方法が異なることも特徴です。このような小児の特性や、疾患の特徴についての十分な知識と経験を持って診療にあたることを目的とした科が小児外科です。

小児外科は専門性の高い科の一つで、現在、香川県には3つの施設(当院、香川大学附属病院、四国こどもとおとなの医療センター)にしかありません。特に、当院は香川県において小児人口の最も多い高松市の中心に位置し、地域の小児医療に対する重要な役割を担っています。

対象疾患

日本では一般に0歳から15歳(中学校卒業)までを小児医療の範疇としており、治療の対象とする疾患は全身を通して多岐に渡り、脳・心臓・骨・眼以外のほとんどの臓器を扱います。

部位・項目	治療する主な疾患
顔面・頸部	耳前瘻孔、副耳、正中頸嚢胞、側頸瘻、梨状窩瘻
胸部・呼吸器	横隔膜ヘルニア、嚢胞性肺疾患、肺分画症、先天性気管狭窄症、気管・気管支軟化症、漏斗胸、異物誤嚥
消化管	食道閉鎖症、食道狭窄症、胃食道逆流症、食道アカラシア、異物誤飲、肥厚性幽門狭窄症、胃軸捻転、消化管穿孔、腸閉鎖症、腸回転異常症、腸重積症、メッケル憩室、腸管重複症、腸閉塞、ヒルシュスプルング病、急性虫垂炎、壊死性腸炎、胎便性腹膜炎、腸管ポリープ、直腸肛門奇形、肛門周囲膿瘍、乳児痔瘻、裂肛、痔核
肝・胆・膵・脾	胆道閉鎖症、先天性胆道拡張症、胆石、膵炎、膵嚢胞、遊走脾捻転
腹壁・臍	臍ヘルニア、白線ヘルニア、臍帯ヘルニア、腹壁破裂、臍肉芽腫、尿膜管遺残、卵黄腸管遺残
鼠径部・陰嚢	鼠径ヘルニア、陰嚢水腫・精索水腫・ヌック水腫
泌尿生殖器	膀胱尿管逆流症、水腎・水尿管症、尿道下裂、停留精巣、精巣捻転症、包茎
体表	皮膚・皮下腫瘍、リンパ管腫、リンパ節腫脹
腫瘍	神経芽腫、ウイルムス腫瘍、肝腫瘍、胚細胞腫瘍、横紋筋肉腫
外傷	肝損傷、膵損傷、脾損傷、腎損傷、消化管損傷

診療実績

診療内約:2016年10月1日~2021年12月31日

部位	疾患	術式	件数
消化器	急性虫垂炎	腹腔鏡下虫垂切除術	60
		開腹虫垂切除術	1
		膿瘍ドレナージ	3
	慢性虫垂炎(Interval)	単孔式虫垂切除術	24
	腸重積症	非観血的整復手術	11
		観血的整復	2
	肥厚性幽門狭窄症	肥厚性幽門狭窄症手術	3
	腸回転異常症	Ladd手術	2
	メッケル憩室関連腸閉塞	メッケル憩室切除術	2
	先天性胆道拡張症	総胆管拡張症手術	1
		胆管外瘻造設術	1
	消化管異物	食道異物摘出術	3
		胃内異物摘出術	1
	経口摂取困難	開腹胃瘻造設術	2
経皮的内視鏡下胃瘻造設術		1	
直腸脱	経肛門的直腸脱手術	1	
直腸ポリープ	ポリープ切除術	1	
泌尿器	停留精巣・移動性精巣	精巣固定術	44
		腹腔内確認 精巣無 陰嚢内Nubbin摘出	3
	非触知精巣	腹腔内確認 精巣有 二期の固定術	1
		萎縮精巣	萎縮精巣摘出術
	精巣腫瘍	精巣摘出術	1
	膀胱尿管逆流症	Cohen手術	9
	Cohen手術後新尿管口狭窄	腎瘻造設術+再開放手術	1
	腎盂尿管移行部狭窄症	腎盂形成術	4
	包茎	Welsh手術(3方切開法)	8
	縫線嚢胞(+包茎)	環状切除術	1
傍外尿道口嚢腫	嚢腫切除術	1	
呼吸器	先天性肺気道奇形(CPAM)	肺切除術	1
顔面・頸部	正中頸嚢胞	Sistrunk手術	2
	側頸瘻	瘻管摘出術	3
	第4咽頭弓遺残	瘻管摘出術	1
	耳瘻管	瘻管摘出術	3
体表	鼠径ヘルニア・水腫	鼠径ヘルニア手術	146
	臍ヘルニア	臍ヘルニア手術	18
	白線ヘルニア	白線ヘルニア手術	2
	尿膜管遺残症	尿膜管遺残摘出術	4
	臍腸管遺残症	臍腸管遺残摘出術	1
	腋窩リンパ管腫	OK-432注入硬化療法	1
	後腹膜リンパ管腫	後腹膜リンパ管腫ドレナージ	1
	皮下・皮膚腫瘍	皮下・皮膚腫瘍摘出術	10
検査・処置	リンパ節腫大	リンパ節生検	21
	筋ジストロフィー	筋生検	1
	中心静脈カテーテル留置	カットダウン	3
合計			412

血液内 ①

腫瘍内 ②

腎臓内 ③

内分泌 ④

消化内 ⑤

循環器 ⑥

脳神内 ⑦

呼吸内 ⑧

感染症 ⑨

精神 ⑩

小児 ⑪

小児外 ●

消化外 ⑬

胸乳外 ⑭

脳神外 ⑮

心臓外 ⑯

整形外 ⑰

リハ ⑱

皮膚 ⑲

形成外 ⑳

泌尿器 ㉑

腎外 ㉒

産婦人 ㉓

眼科 ㉔

耳鼻 ㉕

化学療 ㉖

放診断 ㉗

放治療 ㉘

放核医 ㉙

麻酔 ㉚

歯科 ㉛

救急 ㉜

心不全 ㉝

がんゲ ㉞

健診 ㉟

病理 ㊱

薬剤 ㊲

検査 ㊳

超音波 ㊴

臨床工 ㊵

看護 ㊶

血管治療 ㊷

消化器 ㊸

呼吸器 ㊹

生殖医療 ㊺

腎臓病 ㊻

ロボット ㊼

女性外来 ㊽

緩和 ㊾

下肢 ㊿

呼吸ケア ㉀

NST ㉁

認知症 ㉂

褥瘡 ㉃

RRT ㉄

転倒予防 ㉅

内科専 ㉆

外科専 ㉇

地域の先生方へ

小児外科治療は、小児特有の生理状態や未熟な臓器機能に配慮した周術期管理、手術時期の年齢の考慮、術後の長い成長・発育に耐えられる手術法、より緻密で正確な手術手技が求められます。手術治療が必要と思われる患児は当院にご紹介ください。

日本小児外科学会の云う小児外科専門医＝子どもを安心して預けることができる外科医として、最善を尽くします。